



# ならっ子だより



ふる古くから奈良に伝えられている鹿角細工、大和指物など、奈良にはたくさんの伝統的な産業があります。そしてその一つ一つに、よいものを大切に守り次の世代に伝えていこうという職人さんたちの気持ちが込められています。今月はそのような奈良の伝統的な産業の中から、奈良市が生産量で全国一位となっている墨を紹介しします。

教育センターでは、「にぎり墨」や「奈良筆づくり」などさまざまなものづくり体験教室をしているよ。



## 奈良の伝統的な産業

奈良筆を始め、赤膚焼、奈良団扇、奈良晒、鹿角細工、大和指物など、奈良にはたくさんの伝統的な産業があります。そしてその一つ一つに、よいものを大切に守り次の世代に伝えていこうという職人さんたちの気持ちが込められています。今月はそのような奈良の伝統的な産業の中から、奈良市が生産量で全国一位となっている墨を紹介しします。

### ◆奈良墨

墨の歴史は古く、中国では紙が発明される前から使われており、今から2,000年以上前の漢の時代には、丸く固められた墨丸という墨が作られていました。日本に墨の作り方が伝えられたのは、今から1,400年ほど前の飛鳥時代とされていますが、奈良墨の始まりは、興福寺で仏像にお供えする灯明からとれる

「すす」を原料にして墨が作られたことだとされています。墨づくりの原料には、すすの他に、すすをつないで固める接着剤の役割をするにかわと香料が必要です。奈良墨の複雑な色と香りは、それらの原料と、いくつもの工程を経て加えられる職人さんの技によって作りだされています。



一つ一つ手作りされる墨は完成するまでに数か月かかります。職人さんが手間と時間をかけて、昔ながらの道具を使い丁寧仕上げの奈良墨を使って、来年のお正月には、新たな気持ちで書き初めを楽しくてみてはいかがでしょうか。

特に、始業前の全校一斉朝の学習では、学年に応じて、基礎・基本の学力の定着をめざして反復練習に取り組みんだり、読書タイムを設定し、読書に親しむ時間を大切にしていきます。また、人とのつながりを育てるため、地域のみなさんをゲストに迎えたり、子どもたちが地域に向いたりすることで、人とのふれあいを通した豊かな心の育成に努めています。

南都七大寺の一つ大安寺の旧境内地に位置する本校は、自然に恵まれ、杉山古墳や八幡神社など歴史の薫る伝統校として現在137年目を迎えています。教育目標を、  
「人権尊重を基盤に、自ら学び、考え、行動し、未来を切り拓く、やさしくたくましい子どもを育てる」として、全ての教育活動を通して、豊かな心と生きる力の育成をめざして取り組んでいます。

### 学校紹介

#### 大安寺小学校の巻

【問合せ】教育支援課 (☎0742-36-0401)

## 世界遺産学習全国サミット 2011 in なら

世界遺産や地域遺産を通して、地域に対する誇りや地域を大切に思う心情を育む「世界遺産学習」の研究発表会を開催します。

【とき】①全体会：12月24日(土)午後1時～4時半

②分科会：12月25日(日)午前10時～午後零時半

【ところ】①なら100年会館(三条宮前町)、②はぐくみセンター(三条本町)

【内容】小・中学生による「子ども会議」、講演会や実践報告会、「世界遺産学習会」など

【申込】はがきに催し名、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を書いて、12月13日必着で学校教育課(〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1-1 ☎0742-34-5498)へ。くわしくは、市教育委員会ホームページ「まなび・かがやきネット」(<http://www.naracity.jp/>)にも掲載。



前回の様子